

## 平成 22 年度共同利用研究・研究成果報告書

研究課題名 和文：最高エネルギー宇宙線将来計画の検討  
英文：Study on the Ultra-high Energy Cosmic Ray Future Projects

研究代表者 宇宙線研：福島 正己  
参加研究者 名古屋大学太陽地球環境研・教授：伊藤好孝、埼玉大学・教授：井上直也、理研・主任研究員：戎崎俊一、大阪市大・准教授：荻尾彰一、東工大・教授：垣本史雄、甲南大学・教授：梶野文義、宇宙線研・准教授：佐川宏行、高工機構・准教授：田中真伸、宇宙線研・教授：寺澤敏夫、山梨大学・教授：本田建、甲南大学・准教授：山本常夏、数物宇宙機構・准教授：Kai Martens

研究成果概要 国際シンポジウム "The Symposium on the Recent Progress of Ultra-High Energy Cosmic Ray Observation UHECR2010" を 2010 年 12 月 10 日から 12 日まで、名古屋国際会議場で開催しました。最高エネルギー宇宙線の最近の観測結果の解釈を巡って活発な議論が行われ、将来計画については今後も国際的に意見を集約して行くことになりました。UHECR2011 は欧州で開催される予定です。シンポジウムでの発表は、WEB サイト <http://uhecr2010.icrr.u-tokyo.ac.jp/program.html> で見ることができます。Proceedings は AIP より刊行されます。参加者は約 120 人でした。



整理番号